

前期終業式 10月5日(金)

「わたし(木村)の宝物」

1限目の予定でしたが、いつものように、子どもたちは全員が、5分前には2階ホールに集まって、児童会役員が前に立ち、校歌の練習をしていました。

校歌は、式するときには3番まで歌います。歌詞を忘れていないか、言葉を思い出しながらくり返し歌いました。いちばん早くから並んでいた6年生は、通して10回以上は歌ったと思います。ですから、式が始まる頃には、全員の気分も落ち着き、よく集中していました。そして、最初の校歌斉唱では、声がよく揃い、歌詞をしっかりと歌うことができました。

式の話では、私が宝物にしている、4月に撮った各学年の学級写真と全職員の集合写真を見せながら、この半年の間の成長ぶりを話しました。とくに、朝の登校が全く変わってしっかりした1年生、1年生のときよりもうんとたくさんのことを勉強した2年生、4年生に習った「ソーラン」を第一隣保館で発表するところまできている3年生、日頃の学習を生かしながら学校新聞を作り続けている4年生、教えたり教わったりしながら毎朝練

習を積み重ね、立派に龍神太鼓を叩けるようになった5年生と6年生、などなど、上の学年から下の学年に伝えたり教えたりして、たくさんできるようになってきたことを振り返りました。そして、その教え合いの中で、第一小学校の中の絆が強まっていることを話しました。

「わかった、できた、とだれもが実感できる学校」を目指して始めた今年度の教育活動でしたが、毎日の学習だけでなく、登下校や、学校全体の様々な活動を通して、子どもたちは、その実感を自分の経験を通してつかみ取ってきていることを感じます。それも、毎日の学校への送り出しに始まり、たくさんのご協力をいただいたお陰と感謝申し上げます。ありがとうございました。

本日、持ち帰ります「あゆみ」(通知表)を参考にしてくださいながら、子どもたちの話を聞いてやってください。達成感のあるところ、悔しく思うところ、それぞれに値打ちがあります。運動会や日頃の子どもの姿や様子で気づかれた点ともつなげて、ぜひ話してやってください。次への目標づくりに生きてくると思います。

10月9日から始まる後期もどうぞよろしくお願いいたします。

台風17号 9月30日(日)

予想されていたよりもずっと早い進度で通過していきました。ちょうど日曜日の昼に暴風圏に入り、夜遅くには警報も解除になりましたので、子どもたちの授業等には影響がなく良かったです。ただ、風と雨の勢いがかなり強く、落羽松も大きな枝が折れてしまいました。

翌日、5・6年生も手伝って、片付けました。昨年度、樹木医さんにうかがったところ、スギ科の木なので枝は折れやすいが、本体の幹を守っているということでした。見守っていきます

